



2024-25年度 RI会長
ステファニー A. アーチック



No.3569 10月15日(火)

● 本日の卓話

「新宮市の観光について」

新宮市 市長
田岡 実千年 さん

● 次週の卓話

「米山月間卓話」

元 第2640地区米山奨学生
イリヤ アイシャ ン さん

● 先週の例会記録

- ★ロータリーソング それでこそロータリー
- ★ビクター紹介 ゲスト
2024-25年度青少年育成奨励金対象者 寺田侑史さん
- ★出席報告 (会員数80名、免除会員1名)
本日出席(10/8) 59名 74.68%
- ★メイキャップ 地区へ2名
- ★S. A. (ニコニコ箱) 福辺昌紀さん、松井良樹さん、野井和重さん、川崎 悟さん、島村安昭さん、廣谷行敏さん、中野智一さん、濱田 勝さん、宮崎 純さん、松本真治さん、塚本真治さん、上野雅巳さん

本日合計 ￥53,000
今年度累計額 ￥672,000

- (財団寄付献金箱) 福辺昌紀さん、松井良樹さん、野井和重さん
- (米山奨学会献金箱) 福辺昌紀さん、松井良樹さん、野井和重さん
- (青少年育成奨励金) 福辺昌紀さん、松井良樹さん、野井和重さん

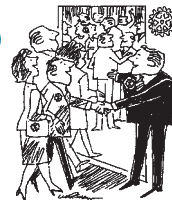
10月は 経済と地域社会の発展月間 米山月間



誕生日お祝い

新会員を推薦しよう

ロータリーに友達または同僚を1人紹介しよう



● 会長あいさつ

会長 野井 和重



「和」「日本」

今年のスローガンである「和」は色々な使われ方がありますが、その中でも「日本」を指すということは皆様よくご存じであると思います。

日本的である事を「和風」と言います。しかし、今私たちが住んでいる国は日本です。「日本文化」「日本食」という事はあるでしょうが、「日本服」「日本菓子」「日本室」ということはあまり使われません。「和服」「和菓子」「和室」と、なぜ「日本」ではなく「和」という字が使われるのか。この「和」という字は元々「倭」だったとされています。古い時代に中国は日本の事を「倭」という風に呼称していました。歴史の授業で「魏志倭人伝」と出てきたはずですが。これがそのまま日本でも使われるようになり、日本の中で「倭」という字が奈良時代に「和」に変わっていったと言われています。鎌倉時

代の徒然草には「和国」という表記があります。古くから有るものに対し、日本以外のものが現れた時に初めて日本人はその頭に「和」を付けるようになったようです。

食(食べ物)→洋食→和食、菓子→洋菓子→和菓子、室(部屋)→洋間→和室、太鼓→ドラム→和太鼓、紙→洋紙→和紙、という風に。

最後に「日本」という表記はいつのころから？
資料から『ひのもと(日本)』と称し、大宝公式令たいほうくしきりょう(701)で初めて国号とし、『やまと』『ひのもと』『にはむ』『にはん』などと読まれた。(中略)東京オリンピック以来、対外的には『にっぽん(NIPPON)』を用いる。とあります。やはり美しい国日本であります。

会 長 報 告

- 10月12日の06市堀川スタディクルーズもほぼ定員に達しました。しかし若干の空きは御座いますので、この機会にぜひご乗船ください。

幹 事 報 告

- 例会変更のお知らせ(和歌山アゼリアRC)
- 和歌山弁護士会からシンポジウムの案内「人と動物の共生する社会の実現へ向けて」
- ガバナー月信の机上配布
- 回覧物(あさひ便り)
- 再掲(市堀川クルーズ、おもてなし大清掃、地区大会)

委 員 会 報 告

2024-25年度

青少年育成奨励金 上半期報告及奨励金授与

担当：青少年育成奨励特別委員会
川端 貞 喜 委員長

寺田 侑 史 さん

県立桐蔭高等学校2年
缶サット・ロボカップジュニア



2023-24年度 会計報告

川崎 悟 会計

2023-24年度の会計報告



2023-24年度 監査報告

野志 幸生 会計監査

2023-24年度の監査報告



親睦・ソング委員会

坂東 信幸 委員長

10/22 さんか会、
11/10 秋のBBQ家族会の開催について



社会奉仕・青少年奉仕部門

河村 秀樹 委員長

10/12 市堀川スタディクルーズの運営・
スケジュールなど

卓 話

「関西起業家コンテスト『頂上決戦』 in和歌山城」の取り組み



BABYJOB株式会社
代表取締役社長

上野 公嗣 さん

「起業」という選択を若い世代に伝え、日本一起業率の高い県を目指す「和歌山イノベーションベース」、通称WIBの取り組みを紹介させていただきます。

今回は学生起業家・これから起業予定の方、そして関西のアクセラレーションプログラムの頂上決戦と題して、和歌山城でピッチコンテスト「城ピッチ」を開催します。

世代を超えた多様な起業家と交流し、刺激し合い、和歌山・関西から日本・世界を熱くしていきたい!との思いで取り組んでおります。

城ピッチには、中学・高校・大学の学生起業家やこれから起業予定の方、関西のアクセラレーションプログラムの参加企業がエントリーし、選ばれし18名の起業家とその卵が集い、事業のプレゼンを競い合います。

中高生部門・大学生部門は10月1日からエントリーを開始し、アクセラ部門では関西の4つのアクセラレーションプログラムの中から参加企業を選出します。

また、大会をご支援くださるスポンサーS特典として、和歌山城を背景に300機のドローンショーで企業PRも行います。和歌山城の上空に煌びやかなライトアップが広がります!

－ イベント概要 －

開催日時 2025年2月16日(日) 18:30-20:30

会 場 和歌山城天守閣
(予選は和歌山城ホール 12:00-16:00)

対 象 者

学生起業家、これから起業予定の方(中学生~大学生)

- ・中高生部門は個人またはチームでの応募可能
- ・大学生部門は起業家1名での応募

関西のアクセラレーションプログラム*の参加企業

参 加 者 約100名(出場者、応援、スポンサー、関係者等)

協 力 和歌山県

後 援 和歌山市、近畿経済産業局

*関西の該当アクセラレーションプログラムは、RISING!、Booming!、奈良スター、WIBの4プログラムになります。各プログラムから参加企業が選出されます。

詳細はHPをご覧ください。



(左) 野井会長と卓話ゲスト 上野公嗣さん